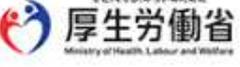


労働者の安全衛生教育に活用しましょう

鳥取県内では、社会福祉施設における労働災害の増加が続いています。災害防止には、働く方の安全作業などへの正しい理解が重要で、その方法として安全衛生教育があります。「転倒災害防止」「腰痛防止」「高齢労働者の災害防止」などの安全衛生教育に、様々な教材や外部機関を活用してみませんか。新規雇入教育、定期的な教育や研修、管理者対象の教育や研修など、実施する際に活用をご検討ください。

活用1：視聴覚教材

- 🎯 スマホ・パソコンがあれば利用可能！
- 🎯 教育、研修へそのまま活用できます！
- 🎯 簡単に教育の機会がつけれます！



厚生労働省
Ministry of Health, Labour and Welfare

職場のあんぜんサイト

【社会福祉施設・小売業 転倒防止、腰痛防止】

転倒・腰痛防止用視聴覚教材

転倒や腰痛は、第三次産業でも日常的に起こり得る災害です。働く皆様が日常的に転倒や腰痛災害の防止を心がけるよう、災害事例、防止対策をまとめた教材です。職場での安全衛生教育などにお役立てください。

- ～転倒・腰痛予防！「いきいき健康体操」～
(4分15秒)
(令和元年度厚生労働科学研究費補助金 労働安全衛生総合研究事業「エビデンスに基づいた転倒予防体操の開発およびその検証」の一環として製作)
- ～飲食店、小売業向け転倒・腰痛防止用視聴覚教材～
(8分56秒)
- ～社会福祉施設向け転倒・腰痛防止用視聴覚教材～
(8分55秒)



【外国人労働者向け】

外国人労働者向け安全衛生視聴覚教材

共通

テキスト

日本語 (18分57秒)	英語 (21MB)	中国語 (21MB)	ベトナム語 (21MB)	フィリピン語 (21MB)	カンボジア語 (21MB)	インドネシア語 (21MB)	タイ語 (21MB)	ミャンマー語 (25MB)
モバイル語 (21MB)	モンゴル語 (21MB)							

動画

日本語 (18分57秒)	英語 (18分57秒)	中国語 (18分57秒)	ベトナム語 (18分57秒)	フィリピン語 (18分57秒)	カンボジア語 (18分57秒)	インドネシア語 (18分57秒)	タイ語 (18分57秒)	ミャンマー語 (18分57秒)
ダウンロード (461MB)	ダウンロード (461MB)	ダウンロード (461MB)	ダウンロード (461MB)	ダウンロード (461MB)				

モバイル語 (18分57秒) モンゴル語 (18分57秒)

ダウンロード (461MB) ダウンロード (461MB)





独立行政法人
労働者健康安全機構 (JOHAS)
Japan Organization of Occupational Health and Safety

動画

【コロナ対策】

職場における新型コロナウイルス感染症対策

独立行政法人労働者健康安全機構では、職場における新型コロナウイルス感染症対策に関するビデオを作成しています。

- ・動画教材「職場における新型コロナウイルス感染症予防対策を推進するためのポイント」
- ・動画教材「会議を行うにあたって新型コロナウイルス感染症の感染防止のためのポイント」

【メンタル対策】

こころの耳 映像ライブラリー「動画で学ぶメンタルヘルス教室」

厚生労働省委託事業として一般社団法人日本産業カウンセラー協会が運営する「働く人のメンタルヘルス・ポータルサイト こころの耳」の、ストレス対策などメンタルヘルスにまつわる内容をわかりやすく説明した動画コンテンツです。

- ・こころの耳 映像ライブラリー「動画で学ぶメンタルヘルス教室」

当機構の山本 晴義 横浜労災病院労働者メンタルヘルスセンター長がストレスの主な症状とその対策方法をお話した動画も見ることができます。

- ・「早く気づけるストレスケア」

講師：山本 晴義 (労働者健康安全機構 横浜労災病院労働者メンタルヘルスセンター長)

一般財団法人あんしん財団 「小規模事業主向けメンタルヘルスクア理解のためのアニメ」(こころのあんしんプロジェクト)

一般財団法人あんしん財団が運営する中小企業のメンタルヘルス対策に関するWebサイト「こころのあんしんプロジェクト」では、「メンタルヘルス対策の理解」のために作成した動画コンテンツを公開しています。

動画の視聴はこちら

- ・メンタルヘルス対策の理解>「小規模企業事業主向けメンタルヘルスクア理解のためのアニメ」

活用2：リーフレット

- ◎ 教育、研修等の資料として配布すると理解度UP！
- ◎ 作業者の意識を高めるために、掲示にも活用できます！

【転倒災害防止】

STOP! 転倒災害

3つの転倒予防

転倒による労働災害は年々多く、全体の約25%。毎年およそ16万6千名以上が怪我をしています！

- 1 作業場所の整理整頓
- 2 作業場所の清掃
- 3 毎日の運動

転倒は原因は、大きく3つに分けられます。皆さまの職場にも似たような転倒はありませんか？

厚生労働省で「STOP! 転倒災害プロジェクト」を推進しています。職場に活用していただくと幸いです。

エイジフレンドリーガイドライン
(高齢者の労働の安全と健康増進のためのガイドライン)

厚生労働省では、高齢者が「労働の安全と健康増進のためのガイドライン」に基づいて安全に労働できるように、様々な取り組みを行っています。特に、高齢者の労働の安全と健康増進のために、職場環境を整えることが重要です。高齢者の労働の安全と健康増進のために、職場環境を整えることが重要です。

厚生労働省 労働安全衛生局 労働安全衛生課

【高齢労働者 災害防止対策】

【安全、安心な 施設づくり】

働く人に安全で安心な店舗・施設づくり推進運動

～小売業・社会福祉施設・高齢者のための施設づくり～

厚生労働省と中央労働災害防止協会では、小売業、社会福祉施設、飲食店において建設している店舗等の安全と安心を促すために、「働く人に安全で安心な店舗・施設づくり推進運動」を展開しています。

これらの事業の推進の具体的な取組については、ホームページ「働く人に安全で安心な店舗・施設づくり推進運動」をご覧ください。また、労働安全衛生局が作成した「働く人に安全で安心な店舗・施設づくり推進運動」のリーフレットも活用してください。

厚生労働省 労働安全衛生局 労働安全衛生課

社会福祉施設、医療施設を運営する事業者の皆さまへ

看護・介護作業による腰痛を予防しましょう

腰痛は、高齢者の労働災害の約1割を占めています。また、労働者の約1割が腰痛を訴えています。腰痛を予防することは、労働者の健康と生産性の向上に大きく貢献します。

腰痛を予防するために、以下の3つのポイントを守りましょう。

1. 正しい姿勢を心がけ、長時間の作業を避けましょう。
2. 腰痛予防のための運動を行いましょう。
3. 腰痛を訴えた場合は、すぐに医師に相談し、適切な治療を受けましょう。

厚生労働省 労働安全衛生局 労働安全衛生課

【腰痛防止】

リーフレットは一例です。

【厚生労働省HP 安全衛生関係リーフレット等一覧】

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakuni tsuite/bunya/koyou_roudou/roudouki jun/gyousei /anzen/index.html

活用3：外部機関の活用等

- ◎ 専門家等からの助言、説明が受けられます！
- ◎ 基本的に費用は無料です！

鳥取産業保健総合支援センター

地域産業保健センター

鳥取産業保健総合支援センター ☎ 0857-25-3431
〒680-0846 鳥取県鳥取市扇町115-1 info@tottoris.johas.go.jp
鳥取駅前第一生命ビルディング6階 HP <https://www.tottoris.johas.go.jp>

労働者数50人未満の小規模事業者の皆さまへ

地域産業保健センターのご案内

労働者数50人未満の小規模事業者は、労務上の課題の解決が難しくありません。その必要が感じられる事業者が、地域産業保健センターにご相談ください。

労働者に対する職業保健サービスを提供することが困難な状況にあります。地域産業保健センターは、労働者50人未満の事業者の就業安全と健康増進を目的として、産業保健サービスを提供することを目的として、開設されています。

個別の労働者について相談・指導いたします。

ぜひご利用、お役に立てます。

～職場における産業保健活動を無料で支援します～

1. 健康診断の結果について医師からの意見聴取
労務担当者が医師からの意見聴取を行い、労働者の健康状態について、医師との意見交換を行うことができます。
2. 長時間労働者や高ストレス者に対する面接指導
長時間労働や高ストレス状態にある労働者の健康状態について、医師からの意見交換を行い、面接指導を行うことができます。
3. 労働者の「心」と「からだ」の健康管理にかかわる相談
健康診断の結果、異常見出された労働者に対して、医師からの意見交換を行い、健康管理に関する相談を行うことができます。
4. 専門スタッフによる個別訪問指導
医師による健康診断結果だけでなく、職業病に関する相談、面接指導を行います。また、作業環境等については労働安全衛生局より調査依頼が受けられます。

※1、2の実施は労働安全衛生法により調査依頼が受けられます。

鳥取産業保健総合支援センターの提供するサービス
産業保健スタッフ等の皆さまへのサービス (すべて無料)

- 研修会の開催
産業界、保健師、看護士、衛生管理者等を対象として、産業保健に関する様々なテーマの研修を実施しています。
- 窓口相談・実地相談
産業保健関係者からの専門的相談への対応
産業医学・労働衛生工学・メンタルヘルス・労働安全衛生法令等専門スタッフが、産業保健に関する様々な問題について、窓口、電話、メール等にて相談に応じます。
また、事業者の具体的な状況に応じた専門的な支援が必要な場合には、事業場を訪問する実地相談もしています。
- メンタルヘルス対策支援
● 事業場を訪問して、メンタルヘルス対策に関する取組等(ストレスチェック制度の導入を含む)を支援いたします。
● 管理監督者、若年労働者などを対象としたメンタルヘルス教育を実施いたします。(1事業場1回のみの)
- 治療と仕事の両立支援
疾病を抱える労働者が治療と仕事の両立を継続できるよう次の支援を行います。
◆個別訪問支援 ◆相談対応 ◆個別調整支援 ◆啓発セミナー
- 情報の提供
メルマガジン、ホームページ、情報誌の発行を通じて産業保健情報をお知らせします。
※メルマガジンの配信をご希望される方は裏面の登録票によりご連絡ください。

【鳥取産業保健総合支援センターQRコード】



名称	所在地	電話番号 ファックス
東部地域産業保健センター	〒680-0845 鳥取市富安1丁目75 東部医師会館内	0857-29-2255 (月～金) 0857-22-2754
中部地域産業保健センター	〒682-0871 倉吉市旭田町18 中部医師会館内	0858-23-2651 (月・火・木) 0858-23-2651
西部地域産業保健センター	〒683-0824 米子市久米町136 西部医師会館内	0859-22-3570 (月～木) 0859-34-6252